

# 飯島賢二の『恐縮ですが・・・一言コラム』

## 第 255 回 隠語、略語、業界用語、そして今は「K Y 語」

2008.4.27

北原保雄編著『K Y 式日本語～ローマ字略語がなぜ流行るのか』(2008年2月大修館刊)を読んだ。ちょうどマスコミが福田内閣のことを「K Y 内閣」と称して話題となった。K Y...つまり「空気読めない」という意味らしい。そんな言葉を「K Y」に代表させて、「K Y 式日本語」、略して「K Y 語」と呼んで集め、なぜそんなローマ字略語が流行るのかなどを分析した本である。

K Y 語は、日本語の文章を略して各単語の先頭のローマ字・数字を組み合わせた略語。頭字語の一種。2007年K Y 語は大ブレイクした。欧米においては頭字語は一般的であり、複合語のみならず文や節を頭字語に略すことも、日常的に行われている。しかし、日本語では、文や節を略して頭字語にすることや、ローマ字表記を略語にすることは一般的ではなかった。とはいえ、日本語においても、文や節の各単語の先頭のローマ字を組み合わせて略語にすることは、最近始められたわけではなく、少なくとも昭和期から行われていたことである。例えば、「もててもてて困る」を略した「MMK」は、大日本帝国海軍で使用されていた俗語とされる。この種の略語は昭和後期にはほとんど用いられることはなかったが、1990年代中頃に若者言葉として再び用いられるようになった。

K Y 語には、「馬鹿馬鹿しい」と、一笑に付すには済まない面白さがあると、北原氏はこの著書の中で分析している。まず「遠回しに表現できる」こと。別語としてアルファベットの2、3文字を使うことにより、元の言葉では直接、露骨になるところをぼかし、隠すことができる。かつては「社会の窓」も隠語だった。これを「C Z」(チャック全開)とすれば、人前で恥かかなくてすむかもしれない。

また「周囲から際立たせる」点。隠語としてK Y 語を使うことで、自分たちの集団の持つ特殊性を周囲から際立たせることができる。これは業界用語に通じるものである。そして第3に「仲間意識を高める」点である。K Y 語は仲間間でしか通用しない隠語であるから、仲間意識を高める効果がある。さらに「言葉遊びが楽しめる」面白さがある。「PK」(パンツ食い込む)のように、その意味と音声との落差を楽しめる。また、「ODD」(お前、大学どうする)のように、日常のありふれた会話を切り取ってキャッチコピー化している状況もある。K Y 語は表現効果そのものというより、その効果によって楽しむことができるのである。

さて、あなたは幾つK Y 語をご存知か? 以下にその代表例を列記する。

AC AKY AM AY CIK CK CKY DB DK GHQ GJ HK HM IK  
IT(する) JC JK KB KD KY KYR KZ MA MIW MK5 MKY MM MMK  
NW OMG PK PT SF SKN SKY VG WK YM 3M

(「日本語俗語辞書」ホームページ <http://zokugo-dict.com/>より。回答は、ハイパーリンク、クリックし確認すること)